

# 平成23年度 愛知県公立学校教員採用選考試験受験案内

愛知県教育委員会

願書受付期間 平成22年5月12日(水)～平成22年5月25日(火)

第1次試験 平成22年7月21日(水) 第2次試験 平成22年8月23日(月)・8月24日(火)

## 1 趣 旨

この試験は、平成23年度の愛知県公立学校教員（名古屋市立学校を除く。）の採用にあたり、選考資料とするため実施するものです。

愛知県では「あいちの人間像」の実現に向けて、次のような教師像を求めています。

愛知が求める  
教師像

- 1 豊かな専門的知識と技能を備えた人
- 2 児童・生徒に愛情を持ち、教育に情熱と使命感を持つ人
- 3 広い教養を持ち、円満で調和のとれた人
- 4 実行力に富み、活力・体力のある人
- 5 明るく、心身ともに健康な人
- 6 穏健、中正な良識のある人

めざす「あいちの人間像」

- かけがえのない自他の命を大切にすることができる人間
- 自らの人生をたくましく切り拓き、社会に生かすことのできる人間
- 健やかな体をつちかい、豊かな文化を継承し創造することのできる人間
- 次代を展望し、世界に視野を広げ活動することのできる人間

（注）平成19年4月に策定した本県初の「あいちの教育に関するアクションプラン」から

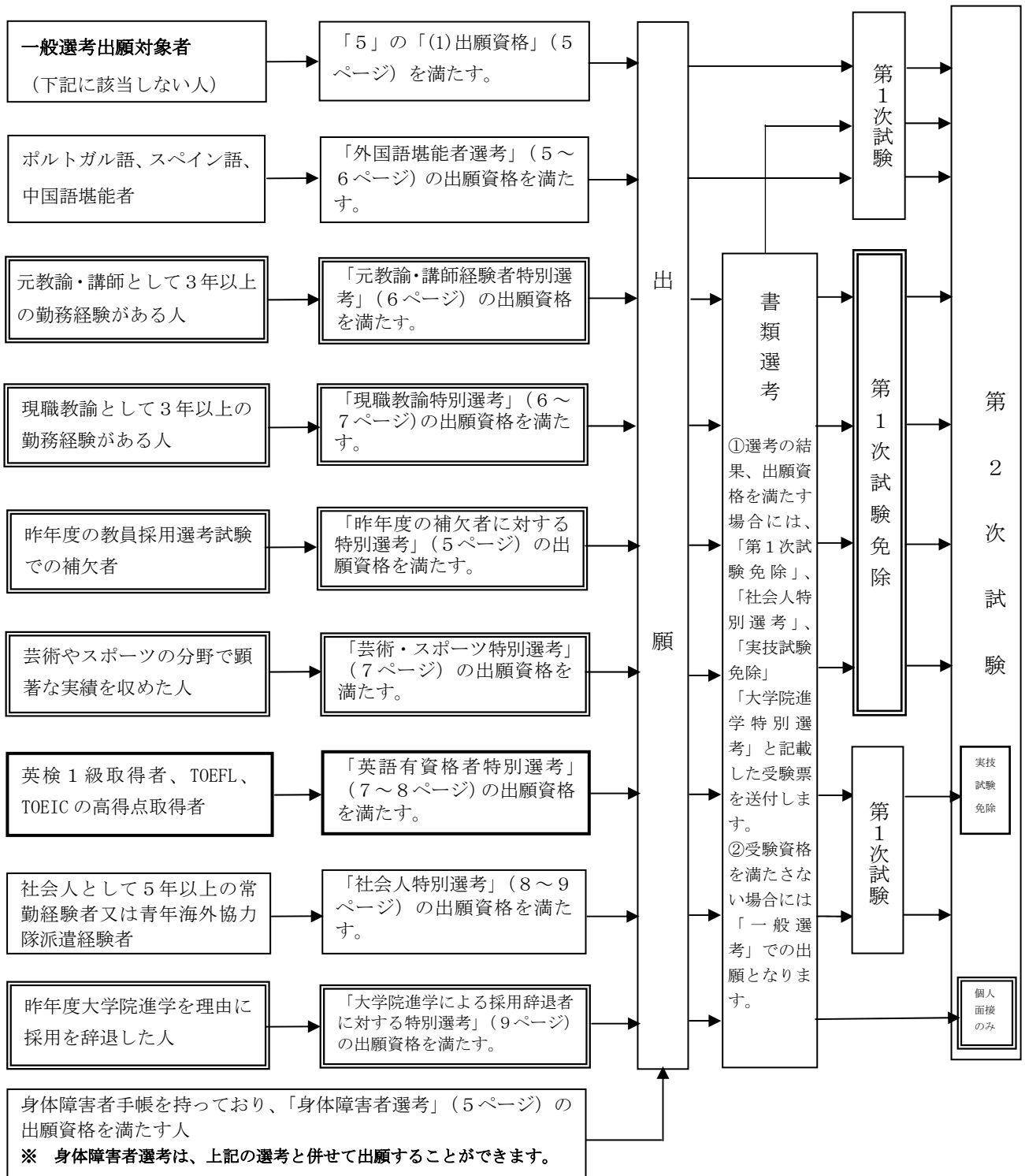
## 2 選考試験概要

選考の種類	受験案内該当ページ	第1次試験					第2次試験 1日目				第2次試験 2日目	
		教職・教養	教科専門Ⅰ	論文試験	口述試験	当該外国語面接	クレペリン検査	教科専門Ⅱ	小論文	実技試験(注1)	口述試験	
											集団討議	個人面接
一般選考	5	○	○		○		○	○	○	※	○	○
昨年度の補欠者に対する特別選考	5	1次試験免除					○	○	○	※	○	○
身体障害者選考 (注2)	5	○	○		○		○	○	○	※	○	○
外国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語)堪能者選考	5	○	○		○	○	○	○	○	※	○	○
元教諭・講師経験者特別選考	6	1次試験免除					○	○	○	※	○	○
現職教諭特別選考	6	1次試験免除					○	○	○	※	○	○
芸術(音楽・美術)・スポーツ特別選考	7	1次試験免除					○	○	○	※	○	○
英語有資格者特別選考	7	○	○		○		○	○	○	免除	○	○
社会人特別選考	8			○	○		○	○	○	※	○	○
大学院進学による採用辞退者に対する特別選考	9	免除										○

(注1) ※ 実技試験を実施する教科…音楽・美術・保健体育・英語・工業(デザイン)・工業(陶芸)・農業(実施する区分については、別紙「平成23年度 愛知県公立学校教員採用選考試験の採用予定人員等」で確認してください。)

(注2) 「身体障害者選考」は、他の選考と併せて出願することができます。

### 3 出願の流れ



※ 看護師・看護教員経験者で「高等学校教諭・看護」への出願を考えている人、又は介護福祉士・福祉教員経験者で「高等学校教諭・福祉」への出願を考えている人は、8～9ページの社会人特別選考の出願資格を確認してください。

※ 大学院・教職大学院への進学を考えている人、又は大学院・教職大学院に在学している人は、15ページを確認してください。

### 4 受験資格と出願の手続き

#### (1) 受験資格

次のすべてに該当する人に限ります。

- ア 地方公務員法第16条(欠格条項)及び学校教育法第9条(欠格事由)に該当しない人
- イ 昭和26年4月2日以降に生まれた人

ウ 受験区分・教科に対応する普通免許状を現に所有している人、又は平成23年3月31日までに取得見込みの人。ただし、次の受験区分・教科については、次のとおりの要件とします。

受験区分	教科	必要な要件	
高等学校教諭	地理歴史	受験区分・教科に対応する普通免許状を所有し、又は取得見込みであること。受験区分・教科に対応する普通免許状を所有していない場合又は取得見込みではない場合は、高等学校教諭社会の普通免許状を所有していること。	
	公民		
	工業 (デザイン)	高等学校教諭工業若しくは高等学校教諭デザインの普通免許状を所有し、又は取得見込みであること。高等学校教諭工業若しくは高等学校教諭デザインの普通免許状を所有していない場合又は取得見込みではない場合は、高等学校教諭美術又は高等学校教諭工芸の普通免許状を、「デザイン」の分野を専攻した上で所有又は取得見込みであり、 <u>出願時に単位修得証明書又は単位取得見込証明書を提出すること。</u>	
	工業 (陶芸)	高等学校教諭工業の普通免許状を所有し、又は取得見込みであること。高等学校教諭工業の普通免許状を所有していない場合又は取得見込みではない場合は、高等学校教諭美術又は高等学校教諭工芸の普通免許状を、「陶芸」の分野を専攻した上で所有又は取得見込みであり、 <u>出願時に単位修得証明書又は単位取得見込証明書を提出すること。</u>	
	情報	高等学校教諭情報の普通免許状の他に、他の高等学校教諭の教科の普通免許状を所有し、又は取得見込みであること。	
	水産 (漁業)	高等学校教諭水産若しくは高等学校教諭商船の普通免許状を所有し、又は取得見込みであること。高等学校教諭水産の普通免許状を所有又は取得見込みである場合は、「漁業」かつ「航海・運用」の分野を専攻していること。高等学校教諭商船の普通免許状を所有又は取得見込みである場合は、「航海学」又は「機関学」の分野を専攻していること。さらに、 <u>いずれの場合も出願時に単位修得証明書又は単位取得見込証明書を提出すること。</u>	
	水産 (情報通信)	高等学校教諭水産若しくは高等学校教諭工業の普通免許状を所有し、又は取得見込みであり、かつ総合無線通信士2級以上、陸上無線技術士2級以上又は第1種情報処理技術者の資格を所有又は取得見込みであり、 <u>出願時に該当する資格を証明する書類の写しを提出すること。</u>	
特別 支援 学校 教諭	小学部	—	小学校教諭の普通免許状を所有し、又は取得見込みであること。
	中学・ 高等部	全教科	出願教科に対応した中学校教諭の普通免許状若しくは高等学校教諭の普通免許状を所有し、又は取得見込みであること。(特別支援学校教諭・社会は、中学校教諭社会の普通免許状を所有し、又は取得見込みであること。)

## (2) 出願の手続き

### ア 願書受付期間

平成22年5月12日(水)から平成22年5月25日(火)まで

### イ 願書の郵送先・受付場所

名古屋市中区三の丸三丁目1番2号 郵便番号 460 - 8534  
愛知県教育委員会事務局管理部教職員課  
電話 (052) 954 - 6769・6770 (ダイヤルイン)

### ウ 出願に必要な書類等

- (ア) 所定の「平成23年度愛知県公立学校教員採用選考試験願書」・「登録カードA」・「登録カードB」・「整理票」及び選考の種類に応じて指示された書類
- (イ) 50円と80円の通常郵便切手各1枚ずつ(上記(ア)の「整理票」に貼付してください。)
- (ウ) 同一の写真3枚(うち2枚は上記(ア)の願書・整理票に貼付し、残りの1枚は手元に保管し、後日送付する受験票に貼付してください。)

### エ 願書の記入等

- (ア) 願書の記入にあたっては、「願書記入上の注意・記入例」をよく読んでください。願書等に記入上の不備がある場合には受理できませんから注意してください。

- (イ) 願書提出後、記載事項に変更を生じた場合は、その変更事項を書面で、受験区分・教科（科目）・受験番号を記し、記名押印して教職員課あて届け出てください。（受験区分・教科（科目）の変更はできません。）
- (ウ) 願書に記載した事項が事実と反する場合は、合格又は補欠の決定を取り消すことがあります。

### オ 出願の方法

- (ア) 出願は原則として郵送に限ります。郵送は平成 22 年 5 月 25 日の消印のあるものまで有効です。（締め切り最終日の 5 月 25 日に郵送する場合は速達にしてください。）
- (イ) 角形 2 号の封筒に願書をミシン目で折り曲げて入れ、封筒の表に各自の受験区分・教科（科目）及び「受験願書在中」と朱書してください。

### カ 受験票の送付

受験票（はがき大）は、6 月 10 日ごろ願書に記載された現住所あて送付します。  
 なお、6 月 24 日（木）までに受験票が到着しない場合は教職員課まで照会してください。

### (3) 出願手続き及び提出書類等一覧

受験資格、出願資格を確認のうえ、下記の手続き及び書類等の提出をしてください。なお、詳細については 5 ページ以降の「5」～「14」で出願資格、出願手続き及び選考内容等を確認してください。

提出日 選考の種類	出願時 (「4」の(2)の手続きに加えて以下の手続きが必要です。)	2次試験 2日目
一般選考	(下記以外の一般選考の提出書類は、願書のみです。)	200 円分の 郵便切手
高等学校教諭・工業(デザイン) 高等学校教諭・工業(陶芸)の出願者のうち美術又は工芸の教員免許を所有又は取得見込みの人	教員免許取得時に必要とした単位修得証明書又は単位取得見込証明書の提出	
高等学校 教諭・水産	①願書の受験区分記入欄内の科目記入欄（ ）内に「海洋資源」、「漁業」、「情報通信」のいずれかを記入	
	(漁業) ②教員免許取得時に必要とした単位修得証明書又は単位取得見込証明書の提出	
(情報通信) ②必要な資格を所有又は取得見込みである事を証明する書類の提出		
昨年度の補欠者に対する特別選考	①願書の該当欄に○印記入 ②願書の「H22 受験番号欄」に昨年度の受験番号を記入	
身体障害者選考	①願書の該当欄に○印記入 ②願書裏面の「身体障害者選考への出願者記入欄」に必要事項を記入	
外国語（ポルトガル語、スペイン語、中国語）堪能者選考	①願書の該当欄に○印記入 ②願書の「外国語」欄に、ポルトガル語、スペイン語、中国語のうち堪能な外国語名を記入	
元教諭・講師経験者特別選考	①願書の該当欄に○印記入 ②現勤務校の所属長の「元教諭・講師経験者特別選考推薦書」（所属長が作成し、厳封したもの。写しは不可とする。）	
現職教諭特別選考	①願書の該当欄に○印記入 ②任用期間及び現職であることを証明する書類の提出	
芸術（音楽・美術）・スポーツ特別選考	①願書の該当欄に○印及び「競技・表彰等の記録」欄に必要事項記入 ②「芸術（音楽・美術）・スポーツ特別選考申告書」及び実績を証明する書類の提出	
英語有資格者特別選考	①願書の該当欄に○印記入 ②出願資格を満たすことを証明する書類の提出（主催団体から教育委員会への直接送付も可）	

社会人特別選考	①願書の該当欄に○印記入 ②「社会人特別選考申告書」の提出 ③社会人としての任用期間及び常勤の職にあることを証明する書類の提出		200 円分の郵便切手
青年海外協力隊派遣経験者	①②は上記(社会人特別選考)に同じ。	③派遣期間を証明する書類の提出	
看護師・看護教員経験者		③看護師免許証の写し及び看護師・看護教員としての任用期間を証明する書類等の提出	
介護福祉士・福祉教員経験者		③介護福祉士登録証の写し及び介護福祉士・福祉教員としての任用期間を証明する書類等の提出	
大学院進学による採用辞退者に対する特別選考	①願書の該当欄に○印記入 ②願書の「H22 受験番号欄」に昨年度の受験番号を記入 ③大学院修了見込み証明書の提出		

※ 提出書類の返却はできません。

## 5 一般選考

### (1) 出願資格

「4」の「(1)受験資格」に同じ。

### (2) 出願の手続き

「4」の「(2)出願の手続き」及び「(3)出願手続き及び提出書類等一覧」に従って出願してください。

## 6 昨年度の補欠者に対する特別選考

### (1) 出願資格

「平成 22 年度愛知県公立学校教員採用選考試験」を受験し、選考結果が「補欠」であった人が、「平成 22 年度愛知県公立学校教員採用選考試験」のときと同一の受験区分・教科(科目)で受験する場合は、次の手続きにより第 1 次試験を免除します。

### (2) 出願の手続き

「4」の「(2)出願の手続き」及び「(3)出願手続き及び提出書類等一覧」に従って出願してください。要件を満たすと認めた場合、「第 1 次試験免除」と記載した受験票の発送をもって通知します。(受験票は第 2 次試験受験に必要です。)

## 7 身体障害者選考

愛知県では、障害のある方の教員採用に積極的に取り組んでいます。

選考試験の実施にあたり、試験会場や試験の実施方法について、車椅子での移動や点字受験、手話通訳者の配置等、障害の種類や程度に応じた配慮をします。障害のあることが、選考において不利になることはありません。

### (1) 募集人員

若干名

### (2) 出願資格

「4」の「(1)受験資格」に加えて、次のすべての要件を満たす人に限ります。

- ア 身体障害者手帳の交付を受け、その障害の程度が 1 級から 6 級までの人
- イ 自力により通勤ができ、かつ、介護者なしに教員としての職務の遂行が可能な人

### (3) 出願の手続き

「4」の「(2)出願の手続き」及び「(3)出願手続き及び提出書類等一覧」に従って出願してください。

## 8 外国語（ポルトガル語、スペイン語、中国語）堪能者選考

「小学校教諭」、「中学校教諭」及び「特別支援学校教諭」の受験区分について実施します。

第 1 次試験の口述試験に加えて、当該外国語による面接を行います。それ以外については、一般選考と同じです。この面接の結果は、成績に加味されます。

面接の結果が良好でなくても、選考において不利になることはありません。

### (1) 出願資格

「4」の「(1)受験資格」に加えて、外国語（ポルトガル語、スペイン語、中国語）が堪能（児童生徒及び保護者とのコミュニケーションを図り、文化や生活習慣の違いを説明できる程度の語学力を有すること。）である人

### (2) 出願の手続き

「4」の「(2)出願の手続き」及び「(3)出願手続き及び提出書類等一覧」に従って出願してください。

## 9 元教諭・講師経験者特別選考

### (1) 出願資格

「4」の「(1)受験資格」に加えて、次のア及びイをともに満たす人に限ります。

ア 平成22年4月1日以降に、愛知県内の公立学校（名古屋市立学校を除く。）の職員（正規任用の教諭及び養護教諭を除き、非常勤の職にある者を含む。）として勤務し、出願時に勤務する学校において所属長の推薦が得られた人

イ 次の(7)又は(イ)において、3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人

※ 次の(7)の勤務実績と(イ)の勤務実績は合算することができます。

#### (7) 元教諭としての勤務実績

平成22年3月31日までに、国立大学法人が設置する学校又は公立学校において正規任用の教諭又は養護教諭としての勤務実績を有すること。

#### (イ) 講師経験者としての勤務実績

平成15年4月1日から平成22年3月31日までの7年間に、愛知県内の公立学校（名古屋市立学校を含む。）において講師（非常勤の職にある者を除く。）又は養護教諭（正規任用者及び非常勤の職にある者を除く。）としての勤務実績を有すること。

※ 勤務実績の算定方法について

元教諭又は講師(非常勤の職にある者を除く。)として1日以上勤務している月は、1か月として算定することができます。

### (2) 出願の手続き

ア 所定の「元教諭・講師経験者特別選考推薦書」の「受験者記入欄」に必要事項を記入の上、出願時に勤務する愛知県内の公立学校（名古屋市立学校を除く。）の所属長に推薦書の作成を依頼してください。

イ 「4」の「(2)出願の手続き」及び「(3)出願手続き及び提出書類等一覧」に従って出願してください。  
出願時に願書に同封する推薦書は、所属長が作成し、厳封したものとしてください。

### (3) 選考結果

ア 書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験を免除します。選考の結果は「第1次試験免除」と記載した受験票の発送をもって通知します。(受験票は第2次試験受験に必要です。)

イ この特別選考に出願して「第1次試験免除」とならなかった人(受験票に「第1次試験免除」の記載がなかった人)は、一般選考の受験者として受け付けます。

ウ 履歴事項に虚偽の記載があった場合は、採用内定後であっても採用を取り消します。

## 10 現職教諭特別選考

### (1) 出願資格

「4」の「(1)受験資格」に加えて、次の要件を満たす人に限ります。

国立大学法人が設置する学校又は公立学校の正規任用の教諭又は養護教諭の職にあり、平成22年4月1日現在において、3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人

### (2) 出願の手続き

「4」の「(2)出願の手続き」及び「(3)出願手続き及び提出書類等一覧」に従って出願してください。

出願時に提出する証明書類は、特別選考の出願資格を確認できる、任用の期間及び現職にあることなどがわかる在職期間証明書、職歴証明書又は履歴書の写し等を提出してください。

### (3) 選考結果

ア 書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験を免除します。選考の結果は「第1次試験免除」と記載した受験票の発送をもって通知します。(受験票は第2次試験受験に必要です。)

イ この特別選考に出願して「第1次試験免除」とならなかった人(受験票に「第1次試験免除」の記

- 載がなかった人)は、一般選考の受験者として受け付けます。  
ウ 履歴事項に虚偽の記載があった場合は、採用内定後であっても採用を取り消します。

## 11 芸術（音楽・美術）・スポーツ特別選考

### (1) 出願資格

「4」の「(1)受験資格」に加えて、芸術（音楽・美術）の分野又はスポーツの分野において次の要件を満たす人。なお、受験区分は問いません。

#### ア 芸術分野

音楽又は美術の分野において、次のいずれかに該当する人（小・中学校における実績は除く。）

- (ア) 国際レベルのコンクール、展覧会等で優秀な成績を収めた人
- (イ) 全国レベルのコンクール、展覧会等で特に優秀な成績を収めた人

#### イ スポーツ分野

スポーツの分野において、次のいずれかに該当する人（小・中学校における実績は除く。）

- (ア) 国際規模の競技会等に日本代表として出場した人  
(オリンピック大会、アジア大会、世界選手権大会等、競技的内容を持つ世界レベルのスポーツ大会に日本代表として出場した人)
- (イ) 全国規模の競技会等において特に優秀な成績を収めた人  
(文部科学省、(財)日本体育協会又はその加盟団体の主催する全国規模の大会において登録選手として出場し、団体競技3位以内、個人競技8位以内の成績を収めた人)

### (2) 出願の手続き

「4」の「(2)出願の手続き」及び「(3)出願手続き及び提出書類等一覧」に従って出願してください。

出願時には、所定の「**芸術（音楽・美術）・スポーツ特別選考申告書**」に実績を証明する書類（特別選考の出願資格を確認できる、賞状の写し、主催団体が発行する成績証明書、大会結果収録の写し等）を添付して提出してください。

### (3) 選考結果

- ア 書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験を免除します。選考の結果は「第1次試験免除」と記載した受験票の発送をもって通知します。（受験票は第2次試験受験に必要です。）
- イ この特別選考に出願して「第1次試験免除」とならなかった人（受験票に「第1次試験免除」の記載がなかった人）は、一般選考の受験者として受け付けます。
- ウ 記載事項に虚偽の内容があった場合は、採用内定後であっても採用を取り消します。

## 12 英語有資格者特別選考

「中学校教諭・英語」、「高等学校教諭・英語」及び「特別支援学校教諭・英語」の受験区分・教科について実施します。

### (1) 出願資格

「4」の「(1)受験資格」に加えて、次のいずれかの要件を満たす人

- ア TOEFL（国際教育交換協議会）において、PBT580点以上又はiBT92点以上（平成20年7月以降の得点に限る。）を取得した人
- イ TOEIC（(財)国際ビジネスコミュニケーション協会）において、860点以上（平成20年7月以降の得点に限る。）を取得した人
- ウ 実用英語検定（(財)日本英語検定協会）1級を取得した人

### (2) 出願の手続き

「4」の「(2)出願の手続き」及び「(3)出願手続き及び提出書類等一覧」に従って出願してください。

出願資格を満たすことを証明する書類として、主催団体が発行する公式認定書又は合格証明書（いずれも原本に限る。）を添付してください。（主催団体からの直接送付も可。郵送先は3ページ記載の「(2)願書の郵送先・受付場所」を参照してください。）

### (3) 選考結果

- ア 書類選考の結果、相当と認められた人は、第2次試験の実技試験を免除します。選考の結果は「実技試験免除」と記載した受験票の発送をもって通知します。
- イ この特別選考に出願して「実技試験免除」とならなかった人（受験票に「実技試験免除」の記載が

なかった人)は、一般選考の受験者として受け付けます。

ウ 記載事項に虚偽の内容があった場合は、採用内定後であっても採用を取り消します。

## 13 社会人特別選考

「小学校教諭」及び「中学校教諭」の受験区分並びに「高等学校教諭・数学」、「高等学校教諭・理科」、「高等学校教諭・工業」、「高等学校教諭・看護」及び「高等学校教諭・福祉」の受験区分・教科について実施します。

### (1) 出願資格

#### ア 「小学校教諭」及び「中学校教諭」の受験区分

「4」の「(1)受験資格」に加えて、次の(ア)又は(イ)の要件を満たす人

(ア) 出願時において民間企業、官公庁等の常勤の職（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。）にあり、平成22年4月1日現在において、常勤の職として通算して5年以上（休職、育児休業等の期間を除く。）の勤務実績を有する人

※ 常勤の職として1日以上勤務している月は、1か月として算定することができます。

(イ) 青年海外協力隊として、平成17年4月1日から平成22年3月31日までの5年間に於いて、2年以上の派遣実績を有する人

#### イ 「高等学校教諭」の受験区分

次の(ア)から(ウ)に示す教科について、それぞれの要件を満たすことが必要です。なお、常勤の職として1日以上勤務している月は、1か月として算定することができます。

##### (ア) 「高等学校教諭・数学」、「高等学校教諭・理科」及び「高等学校教諭・工業」

「4」の「(1)受験資格」(ウを除く。)に加えて、次の要件を満たすことが必要です。

出願時において民間企業、官公庁等の常勤の職（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の教育職を除く。）にあり、平成22年4月1日現在において、常勤の職として通算して5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人

##### (イ) 「高等学校教諭・看護」（看護師・看護教員経験者）

「4」の「(1)受験資格」(ウを除く。)に加えて、次の要件をすべて満たすことが必要です。

a 高等学校卒業以上の学歴があり、かつ、看護師免許を所有する人

b 次の①又は②の勤務実績を有する人

① 出願時において、国公立又は民間病院等の医療機関の常勤の看護師（助産師、保健師を含む。）又は看護師養成機関（専攻科を設置する高等学校を含む。）の教員（看護科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。）であり、平成22年4月1日現在において、国公立又は民間病院等の医療機関において常勤の看護師（助産師、保健師を含む。）として通算5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人

② 出願時において、国公立又は民間病院等の医療機関の常勤の看護師（助産師、保健師を含む。）又は看護師養成機関（専攻科を設置する高等学校を含む。）の教員（看護科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。）であり、平成22年4月1日現在において、国公立又は民間病院等の医療機関の常勤の看護師（保健師、助産師を含む。）として通算3年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有し、かつ、看護師としての勤務実績と看護師養成機関（専攻科を設置する高等学校を含む。）の常勤の教員（看護科での勤務実績を有する実習助手を含む。）としての勤務実績を通算して5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)有する人

##### (ウ) 「高等学校教諭・福祉」（介護福祉士・福祉教員経験者）

「4」の「(1)受験資格」(ウを除く。)に加えて、次の要件をすべて満たすことが必要です。

a 高等学校卒業以上の学歴があり、かつ、介護福祉士の資格を有する人

b 出願時において、社会福祉施設の常勤の介護福祉士又は介護福祉士養成機関（福祉科を設置する高等学校を含む。）の教員（福祉科での勤務経験を有する実習助手及び非常勤の職にある者を含む。）であり、平成22年4月1日現在において、常勤の介護福祉士として通算5年以上(休職、育児休業等の期間を除く。)の勤務実績を有する人

※ 特別免許状について

高等学校の受験区分の社会人特別選考においては、出願時点で受験区分・教科に対応する普通免許状を所

有しなくても受験できますが、合格した後、その教科の特別免許状の申請をし、取得する必要があります。

## (2) 出願の手続き

「4」の「(2)出願の手続き」及び「(3)出願手続き及び提出書類等一覧」に従って出願してください。

出願時には、所定の「**社会人特別選考申告書**」に証明書類（特別選考の出願資格を確認できる、任用の期間及び常勤又は非常勤の職にあることなどがわかる在職期間証明書、職歴証明書、履歴書の写し等、看護師免許証又は介護福祉士登録証の写し等）を添付して提出してください。

## (3) 選考結果

ア 書類選考の結果、相当と認められた人は、第1次試験においては、論文試験と口述試験を行います。書類選考の結果は「**社会人特別選考**」と記載した受験票の発送をもって通知します。

イ この特別選考に出願して「社会人特別選考」とならなかった人（受験票に「社会人特別選考」の記載がなかった人）は、一般選考の受験者として受け付けます。ただし、この場合、一般選考と同じ出願資格を有していることが必要です。（「4」の「(1)受験資格」のウを含む。）

ウ 履歴事項に虚偽の記載があった場合は、採用内定後であっても採用を取り消します。

## 14 大学院進学による採用辞退者に対する特別選考

### (1) 出願資格

「4」の「(1)受験資格」に加えて、次の要件を満たすことが必要です。

「平成22年度愛知県公立学校教員採用選考試験」を受験し、選考結果が「合格」で、大学院（教職大学院を含む。）在学を理由として辞退書を提出し採用を辞退した人が、次のア及びイの要件をともに満たし、「平成22年度愛知県公立学校教員採用選考試験」のときと同一の受験区分・教科(科目)で受験する場合は、次の手続きにより第2次試験の個人面接のみの実施とします。

ア 平成23年3月31日までに大学院修士課程を修了見込みであること。

イ 平成23年4月1日までに、平成22年度愛知県公立学校教員採用選考試験で受験した区分・教科の専修免許状が取得できていること。

### (2) 出願の手続き

「4」の「(2)出願の手続き」及び「(3)出願手続き及び提出書類等一覧」に従って出願してください。

要件を満たすと認められた場合、「大学院進学特別選考」と記載した受験票の発送をもって通知します。（受験票は第2次試験の個人面接時に必要です。）

## 15 勤務条件

### (1) 給与等（平成22年4月1日現在）

ア 初任給

区 分	給料月額	地域手当等	計
小・中・高等学校教諭（大卒）	199,700円	25,287円	224,987円
小・中・高等学校教諭（短大卒）	177,200円	22,366円	199,566円
特別支援学校教諭（大卒）	199,700円	39,642円	239,342円
特別支援学校教諭（短大卒）	177,200円	35,105円	212,305円

（注1） 地域手当等：地域手当、教職調整額、給料の調整額、義務教育等教員特別手当の計

（注2） 財政事情により平成22年度は給料月額の3%が減額されます。

イ 前歴加算

高等学校卒業以降に有用な経験がある場合の初任給は、一定の基準により加算されます。

ウ 各種手当

扶養手当、住居手当、通勤手当、期末・勤勉手当などが条例に基づき支給されます。

また、へき地学校、定時制高等学校に勤務する者及び農業・工業高等学校等に勤務し、実習教科を担当する者には、その職務に係る手当について条例に基づき別途支給されます。

### (2) 勤務時間等

ア 勤務時間

1週間について38時間45分

イ 休日等

土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

ウ 休暇等

年次休暇(4月1日採用の場合、年20日)、療養休暇、特別休暇(出産休暇、生理休暇、忌引休暇、結婚休暇等)、介護休暇、育児休業(3歳未満の子の養育)

**16 採用予定人員等**

別紙「平成23年度 愛知県公立学校教員採用選考試験の採用予定人員等」を参照してください。

**17 選考試験の期日、実施内容等**

**[1] 第1次試験**

**(1) 日程**

平成22年7月21日(水) (面接時間に遅れた場合は集団面接を受けることはできません。)

8:50 9:10 9:40 10:40 11:05 12:05 12:10 13:00～

受付	諸連絡	教職・教養	休憩	教科専門 I	面接の注意	昼食	面接
----	-----	-------	----	--------	-------	----	----

(社会人特別選考受験者の日程)

8:50 9:10 9:40 11:40 11:45 13:00～

受付	諸連絡	論文試験	面接の注意	昼食	面接
----	-----	------	-------	----	----

**(2) 内容**

試験	内容
筆記試験 教職・教養 教科専門 I (社会人特別選考は、論文試験)	教職に関する基本的知識及び一般教養 教科に関する基本的知識
口述試験 集団面接 (外国語堪能者選考は、当該外国語による面接を加えて行う。)	

**(3) 試験会場 (受験票に記載し通知します。)**

試験会場 所在地	交通機関
愛知県立旭丘高等学校 名古屋市東区出来町三丁目6の15	○JR中央線大曾根駅南口下車南800m ○地下鉄名城線大曾根駅下車南900m
愛知県立千種高等学校 名古屋市名東区社台2の206	○地下鉄東山線一社駅下車北東500m
愛知県立愛知商業高等学校 名古屋市東区徳川1の12の1	○名古屋バスターミナルから市バス幹名駅1系統(上飯田行)で東区役所下車50m ○地下鉄桜通線車道駅下車北西830m
愛知県立瑞陵高等学校 名古屋市瑞穂区北原町2の1	○地下鉄桜通線瑞穂区役所駅下車西300m
愛知県立松蔭高等学校 名古屋市中村区烏森町2の2	○近鉄線烏森駅下車北西500m ○地下鉄東山線岩塚駅下車東1,000m
愛知県立昭和高等学校 名古屋市瑞穂区玉水町1の18	○地下鉄名城線瑞穂運動場東駅下車南東1,200m
愛知県立中村高等学校 名古屋市中村区菊水町1の2の18	○名古屋バスターミナルから市バス名駅25系統(名古屋駅行)で豊公橋下車すぐ ○地下鉄東山線本陣駅から市バス名駅25系統(名古屋駅行)で豊公橋下車すぐ

愛知県立鳴海高等学校 名古屋市緑区左京山 801	○名鉄本線左京山駅下車南東 500m
愛知県立天白高等学校 名古屋市天白区植田東 1 の 601	○地下鉄鶴舞線植田駅・原駅下車北 1,200m
愛知県立名南工業高等学校 名古屋市南区阿原町 1	○名鉄本線本星崎駅下車東 200m
愛知県立中川商業高等学校 名古屋市中川区野田 3 の 280	○近鉄線八田駅下車西 1,800m    ○地下鉄東山線八田駅下車西 1,800m ○J R 関西本線八田駅下車西 1,800m
愛知県立刈谷北高等学校 刈谷市寺横町 1 の 67	○J R 東海道本線刈谷駅下車西 1,800m ○名鉄三河線刈谷市駅下車北 800m ○J R 東海道本線逢妻駅下車東南 1,500m

※ 会場校への問い合わせは、ご遠慮ください。    ※ 各会場の敷地内は全面禁煙です。

- ◎ 交通機関問い合わせ先
- |                      |                                |
|----------------------|--------------------------------|
| ○市バス・地下鉄テレホンサービスセンター | 052-522-0111                   |
| ○J R テレホンサービスセンター    | 050-3772-3910                  |
| ○名鉄テレホンサービスセンター      | 052-582-5151                   |
| ○近鉄テレホンサービスセンター      | 052-561-1604 (9:00~19:00 の間のみ) |

#### (4) 持参品

ア 受験票（願書にのりづけしたものと同一写真を貼ったもの）、筆記用具（HBの鉛筆又はシャーペンシル、プラスチック製消しゴム）、上履き、下足入れ用のビニール袋  
なお、受験場には時計を設置しません。

イ 次に掲げる受験区分・教科の受験者は右欄に示す物を用意してください。

受験区分	教科	持 参 す る 物
高等学校教諭	商 業	そろばん又は電子卓上計算機（計算機能のみのものに限る）

#### (5) 実技試験の登録について

音楽及び保健体育を受験する人は、第1次試験当日に第2次試験で実施する実技試験の受験種目等を登録する必要があります。以下の内容に従い登録できるようにしておいてください。

##### ア 音楽実技試験について

第2次試験で**専攻実技**と**共通課題**の2種目を実施します。それぞれの試験について、演奏時に楽譜を1部提出してください。演奏終了時に返却します。

##### (ア) 専攻実技試験について

a 受験専攻種目を下記の3つから選び、第1次試験当日に演奏曲目とともに登録すること。

A (ピアノ)            B (声楽)            C (AとB以外)

- ① C種目については受験楽器名も明記すること。
- ② コントラバス、マリンバの当日借用希望、大型楽器の搬入予定は登録時に明記すること。
- ③ 登録内容については一切の変更を認めない。

##### b 受験曲について

- ① 演奏時間が5分以上になるように曲を準備し、暗譜演奏とする。演奏時間が長いものについては、演奏箇所の指定を行う場合がある。（複数曲でも可）
- ② B及びC種目で伴奏の必要な曲目は、必ず伴奏者を同伴すること。  
※ 伴奏者は実技試験開始までに集合のこと。  
※ 演奏用の靴は適宜使用してよい。

##### (イ) 共通課題について

- 合唱曲の弾き歌い    課題曲 「時の旅人」 橋本祥路作曲    混声3部合唱    F dur
- ・3つのパートそれぞれを、ピアノ伴奏を弾きながら歌詞をつけて歌うこと。
  - ・歌うパートは当日に指定する。

##### イ 保健体育実技試験について

第2次試験の中学校教諭、高等学校教諭、特別支援学校教諭（中学・高等部）の保健体育実技試験の種目は次のとおりです。種目の選択については、第1次試験当日に登録してください。

※ (必)は、全員実施。(選)は、選択者のみ実施。

(必) 器械運動（マット運動）

(必) 陸上競技（ハードル走・走り幅跳び）

- (必) 水 泳 (クロール・平泳ぎ)
- (選) 球 技 (バスケットボール①、バレーボール②、サッカー③、ハンドボール④)
- (選) 武 道 (柔道⑤、剣道⑥)、ダンス⑦

- ※ 球技については、①・②から1種目選択、③・④から1種目選択とし計2種目を実施。
- ※ 武道及びダンスについては、⑤・⑥・⑦から1種目選択する。
- ※ 雨天時の種目については、当日指示します。

ウ その他の教科の実技試験について

次の教科については、第2次試験において以下の内容で実技試験を実施しますが、事前の登録をする必要はありません。

- (ア) 美術・・・デッサンを実施します。
- (イ) 英語・・・「Introductory Talk」、「Reading」及び「Questions & Answers」を実施します。
- (ウ) 工業（デザイン）・・・アイデアスケッチ及び想定デッサンを実施します。
- (エ) 工業（陶芸）・・・粘土による立体物の製作を実施します。
- (オ) 農業・・・農業鑑定を実施します。

(6) 第1次試験の結果通知

受験者には、第1次試験の結果を平成22年8月10日付で郵送により通知します。なお、掲示による可否の発表はしませんが、8月16日（月）までに通知書が到着しない場合は、教職員課まで照会してください。

第1次試験合格者については、第2次試験を実施します。

[2] 第2次試験

(1) 第2次試験1日目

ア 日程

平成22年8月23日（月）（第2次試験1日目の欠席者は2日目の受験はできません。）

8:30 8:50 9:05 10:00 10:20 11:20 11:40 12:40 13:30～

受付	諸注意	クレペリン 検 査	休憩	教科専門Ⅱ	休憩	小論文	昼食	実技試験
----	-----	--------------	----	-------	----	-----	----	------

イ 内 容

試 験	内 容															
筆記試験 教科専門Ⅱ	<p>教科（科目）に関する専門的知識</p> <p>①小学校教諭及び特別支援学校小学部教諭受験者は、国語、社会、数学、理科は必須とし、音楽、美術、保健体育、家庭のうち1教科を選択する。</p> <p>②次の教科受験者は教科全分野にわたる必須問題の他に次に掲げる選択分野から受験時に一つ選択する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教 科</th> <th>選 択 分 野</th> <th>選 択 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地理歴史</td> <td>「日本史」「世界史」「地理」</td> <td>左の選択分野から一つ</td> </tr> <tr> <td>公 民</td> <td>「倫理」「政治・経済」</td> <td>左の選択分野から一つ</td> </tr> <tr> <td>理 科</td> <td>「物理」「化学」「生物」「地学」</td> <td>左の選択分野から一つ</td> </tr> <tr> <td>農 業</td> <td>「作物・野菜」「草花」「果樹」「畜産」 「農業機械」「食品化学」「林業」 「造園」「農業土木」</td> <td>左の選択分野から一つ</td> </tr> </tbody> </table>	教 科	選 択 分 野	選 択 数	地理歴史	「日本史」「世界史」「地理」	左の選択分野から一つ	公 民	「倫理」「政治・経済」	左の選択分野から一つ	理 科	「物理」「化学」「生物」「地学」	左の選択分野から一つ	農 業	「作物・野菜」「草花」「果樹」「畜産」 「農業機械」「食品化学」「林業」 「造園」「農業土木」	左の選択分野から一つ
教 科	選 択 分 野	選 択 数														
地理歴史	「日本史」「世界史」「地理」	左の選択分野から一つ														
公 民	「倫理」「政治・経済」	左の選択分野から一つ														
理 科	「物理」「化学」「生物」「地学」	左の選択分野から一つ														
農 業	「作物・野菜」「草花」「果樹」「畜産」 「農業機械」「食品化学」「林業」 「造園」「農業土木」	左の選択分野から一つ														
小論文																
クレペリン検査 実技試験等	<p>次の教科（科目）について実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽、美術、保健体育、英語、工業（デザイン）、工業（陶芸）、農業（実施区分については、別紙「平成23年度 愛知県公立学校教員採用試験の採用予定人員等」で確認してください。）</li> </ul>															

## ウ 試験会場

第1次試験結果通知書に記載し通知します。

試験会場 所在地	交通機関
一宮市立中部中学校 一宮市八幡4丁目1の111	○ J R 東海道本線尾張一宮駅又は名鉄本線名鉄一宮駅下車北西1,300m
江南市立布袋中学校 江南市北山町西7	○ 名鉄犬山線布袋駅下車北東400m
小牧市立味噌岡中学校 小牧市小松寺366	○ 名鉄小牧線味噌岡駅下車東200m
瀬戸市立水無瀬中学校 瀬戸市原山町1	○ 名鉄瀬戸線尾張瀬戸駅下車南西1,300m ○ 名鉄バス東山線水無瀬中学校前下車東400m
蟹江町立蟹江中学校 海部郡蟹江町宝3丁目20	○ 近鉄蟹江駅下車東南300m
知多市立八幡中学校 知多市八幡左り脇135	○ 名鉄常滑線寺本駅下車南1,000m
岡崎市立南中学校 岡崎市戸崎町野畔8の1	○ 名鉄東岡崎駅下車岡崎駅行バス戸崎町下車東30m ○ J R 岡崎駅下車東岡崎駅行バス戸崎町下車東40m
刈谷市立刈谷東中学校 刈谷市山池町1の201	○ J R 東海道本線逢妻駅下車東400m
豊田市立崇化館中学校 豊田市栄町2の6	○ 名鉄三河線豊田市駅又は愛知環状鉄道新豊田駅下車北西1,800m ○ 名鉄三河線梅坪駅下車南西1,600m
知立市立知立中学校 知立市広見2の4	○ 名鉄本線知立駅下車東1,100m
蒲郡市立蒲郡中学校 蒲郡市新井町13の18	○ J R 東海道本線蒲郡駅下車北東1,800m ○ 名鉄蒲郡線蒲郡駅下車北東1,800m
豊橋市立南部中学校 豊橋市北山町東浦1の4	○ 豊鉄渥美線南栄駅下車北200m
愛知県立明和高等学校 名古屋市東区白壁2の32の6	○ 地下鉄名城線市役所駅下車東500m ○ 名鉄瀬戸線東大手駅下車東すぐ
愛知県立名古屋西高等学校 名古屋市西区天神山町4の7	○ 名古屋バスターミナルから市バス名鉄15系統（浄心町行、黒川行又は砂田橋行）で天神山下車西300m ○ 地下鉄鶴舞線浄心駅下車西800m
愛知県立一宮高等学校 一宮市北園通6の9	○ J R 東海道本線尾張一宮駅下車東1,500m ○ 名鉄本線名鉄一宮駅下車東1,500m
愛知県立名古屋南高等学校 名古屋市南区東又兵衛町5の1の11	○ J R 東海道本線笠寺駅下車西400m ○ 名鉄本線本笠寺駅下車西1,100m ○ 名鉄常滑線大江駅下車東700m
愛知県立江南高等学校 江南市北野町川石25の2	○ 名鉄犬山線江南駅下車東500m
愛知県立知立東高等学校 知立市長篠町大山18の6	○ 名鉄本線知立駅下車東南1,700m ○ 名鉄本線牛田駅下車西南1,000m
愛知県立豊田南高等学校 豊田市若林東町中外根1の1	○ 名鉄三河線若林駅下車南東800m
愛知県立国府高等学校 豊川市国府町下坊入10の1	○ 名鉄本線国府駅下車南800m
愛知県立旭野高等学校 尾張旭市東印場町越水3の4の1	○ 名鉄瀬戸線旭前駅下車南西400m

※ 会場校への問い合わせは、ご遠慮ください。 ※ 各会場の敷地内は全面禁煙です。

## エ 持参品

- ① 受験票、第1次試験結果通知書、筆記用具（クレペリン検査を行うので、HBの鉛筆2～3本を用意しておく。）、上履き、下足入れ用のビニール袋  
なお、受験場には時計は設置しません。また、次の受験区分・教科（科目）については、この他に持参する物があります。
- ② 次に掲げる教科（科目）の受験者は右欄に示す物を用意してください。（実施区分については、別紙「平成23年度 愛知県公立学校教員採用選考試験の採用予定人員等」で確認してください。）

教科（科目）・選考試験		持 参 す る 物
保健体育	実技試験	ア 実技試験に適した服装 イ 体育館シューズ及び屋外用シューズ（スパイク不可） ウ 水泳着及び水泳帽 エ 柔道着（柔道選択者）、竹刀及び防具一式（剣道選択者） オ 縦15cm×横25cmの白地の布に、受験番号を黒色（字幅1cm）で記入したゼッケンを衣服の前後に縫いつける。柔道選択者は、柔道着の背の部分、剣道選択者は、防具の垂れの部分にもゼッケンを縫いつける。 カ 実施種目に必要な用具や衣類等を持ち運ぶためのバッグ キ 健康保険証（写しも可）
音 楽	教科専門Ⅱ	ア 直線定規（15センチメートル程度） イ 2B程度の鉛筆（楽譜作成用）
	実技試験	ウ 音楽実技試験に使用する楽器のうち、ピアノ、コントラバス、マリンバ以外の楽器 エ 専攻実技で演奏する楽譜1部（提出用） ※演奏は暗譜 オ 共通課題で演奏する楽譜2部（提出用と演奏用） カ 必要があれば演奏で使用する靴
美 術	実技試験	鉛筆デッサン用具一式
商 業	教科専門Ⅱ	そろばん又は電子卓上計算機（計算機能のみのものに限る）
工 業 （機械・電気・建築・ 土木・化学工業・ セラミック）	教科専門Ⅱ	ア 関数電卓（プログラム機能を有しないものに限る） イ 直線定規（15センチメートル程度）
工 業 （デザイン）	実技試験	ア 鉛筆（H、HB、B、2B、3B）各2本 合計10本 イ 色鉛筆（各自で選んだ12色） ウ カッターナイフ（鉛筆を削るためのもの） エ 消しゴム オ ねりゴム
工 業（陶芸）	実技試験	クロッキー用鉛筆
農 業	農業鑑定	白衣

## (2) 第2次試験2日目

### ア 日 程

平成22年8月24日（火）

（受付時間は第1次試験結果通知書に記載します。また、日程は第2次試験2日目の受付時にお知らせします。）

### イ 内 容

口述試験（集団討議及び個人面接）

### ウ 試験会場

13ページに記載した試験会場の中から、第1次試験結果通知書に記載し通知します。

### エ 持参品

受験票、第1次試験結果通知書、筆記用具、上履き、下足入れ用のビニール袋

なお、受験場には時計を設置しません。

### オ 提出書類

4ページに記載した「4」の「(3) 出願手続き及び提出書類等一覧」に従って提出してください。

## (3) 第2次試験の結果通知及び採用

第2次試験の結果を平成22年10月1日付で郵送により通知します。

## ア 健康検査書の提出

合格者及び補欠者には、結果通知書発送時に、所定の健康検査書を送付しますので、指定された期日までに提出してください。健康上の理由によりその職に耐えられないと認められた場合は、合格又は補欠であっても採用されないことがあります。

## イ 合格者

平成 23 年 4 月 1 日付で採用します。

## ウ 補欠者

受験区分・教科（科目）ごとの新規採用教員の欠員状況に応じて、平成 23 年 4 月 1 日以降順次採用します。

なお、平成 24 年 3 月 31 日までに採用されないときは失効となります。

また、補欠者への措置として、平成 24 年度愛知県公立学校教員採用選考試験において「昨年度の補欠者に対する特別選考」の受験資格を有する者とします。

※ 小学校教諭及び中学校教諭の採用者については、一定期間を経過した後に小学校及び中学校の校種間で異動することがあります。

## (4) 大学院進学による採用辞退者への措置

選考結果が「合格」であった人で、受験した区分・教科の専修免許状を取得できる大学院（教職大学院を含む。）に進学又は在学を理由として辞退書を提出し平成 23 年度の採用を辞退した人が、下記に示す「愛知県公立学校教員採用選考試験」に同一の受験区分・教科で出願する場合は、「大学院進学による採用辞退者に対する特別選考」の資格を有する者とします。修業年限は各大学院の所定の期間（最大 3 年）とし、それを越えて在学している場合は、資格を失うものとします。

大学院 進学者	① 平成 25 年度愛知県公立学校教員採用選考試験（平成 24 年実施）への出願 [修業年限が 2 年の場合] ② 平成 26 年度愛知県公立学校教員採用選考試験（平成 25 年実施）への出願 [修業年限が 3 年の場合]
大学院 在学者	① 平成 24 年度愛知県公立学校教員採用選考試験（平成 23 年実施）への出願 [修業年限が 2 年で大学院 1 年生] [修業年限が 3 年で大学院 2 年生] ② 平成 25 年度愛知県公立学校教員採用選考試験（平成 24 年実施）への出願 [修業年限が 3 年で大学院 1 年生]

※ 大学院の学年は平成 23 年度愛知県公立学校教員採用選考試験（平成 22 年実施）出願時の学年とします。

## 18 選考の方法等

愛知県公立学校の教員の採用にあたっては、次の各選考試験の結果を選考資料とし、人物重視の観点に基づいて、総合的に評価を行います。

### (1) 第 1 次試験

#### ア 「教職・教養」及び「教科専門Ⅰ」

全区分・教科とも各 60 分 100 点満点で実施する。

#### イ 「口述試験」

教員としての適性を、態度、人柄、活力等の観点から、5 段階で評価する。

A	特に適性が高い
B	比較的適性が高い
C	普通
D	やや適性が低い
E	適性が低い

#### ウ 社会人特別選考の「論文試験」

次に示す観点に基づき、3 段階で評価する。

- ① 社会人としての経験と専門性を身につけているか。
- ② 教育に対する見識を持ち、現実に対する認識は適切であるか。
- ③ 教育に対する意欲は十分であるか。

- ④ 出題の意図を的確にとらえ、論旨が一貫しているか。
- ⑤ 文章表記は的確であるか。

A	優秀
B	普通
C	不十分

エ 外国語堪能者選考の当該外国語による「面接」

当該外国語の運用能力を3段階で評価する。

A	当該外国語の運用能力に優れている。
B	ある程度の当該外国語の運用能力を有している。
C	当該外国語の運用能力は不十分である。

(2) 第2次試験

ア 「教科専門Ⅱ」

全区分・教科とも各60分100点満点で実施する。

イ 「実技試験」

次の教科について、下の表のとおり実施する。

なお、保健体育の(※)については、必須及び選択の合計5種目を実施する。

教科	音楽	美術	保健体育	英語	工業 (デザイン)	工業 (陶芸)	農業
満点	100点	100点	100点	50点	100点	100点	40点
時間	15分程度	120分	※	10分	120分	120分	10分

ウ 「小論文」

次に示す観点に基づき、5段階で評価する。

- ① 教育に対する見識を持ち、現実に対する認識は適切であるか。
- ② 教育に対する意欲は十分であるか。
- ③ 教師として現実に立脚した展望を持っているか。
- ④ 出題の意図を的確にとらえ、論旨が一貫しているか。
- ⑤ 文章表記は適切であるか。

A	特に優秀
B	優秀
C	普通
D	やや不十分
E	不十分

エ 「集団討議」

教員としての適格性を、コミュニケーション能力、教育への情熱や使命感、児童生徒への愛情や興味・関心等の観点から、3段階で評価する。

A	適格性が高い
B	普通
C	適格性が低い

オ 「個人面接」

積極性、表現力、責任感、協調性、適応性、社会性等の観点に基づき、5段階で評価する。

A	特に優秀
B	優秀
C	普通
D	やや不十分
E	不十分

## 19 選考試験結果の情報提供

### (1) 選考試験合格者のホームページ掲載

第1次試験の合格者、第2次試験の合格者及び補欠者の受験番号を、下記のとおりインターネットの愛知県教育委員会ホームページに掲載します。

ア ホームページアドレス

<http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/kyosyokuin/saiyou/goukakusya/>

イ 期間

第1次試験 8月11日(水) 午前10時から9月10日(金) 午前9時まで

第2次試験 10月2日(土) 午前10時から11月1日(月) 午前9時まで

### (2) 受験者への選考結果の情報提供(簡易開示)

第1次試験受験者、第2次試験受験者のうち、希望者に対して下記の期間の土曜日、日曜日、祝日を除く平日の午前9時から午後5時15分まで情報提供を行います。

ア 場所

県民生活課 情報コーナー

愛知県自治センター2階

名古屋市中区三の丸3-1-2 (地下鉄市役所駅5番出口から徒歩2分)

イ 必要な物

受験票の他に、本人であることを証明する書類(運転免許証、パスポート等)が必要です。

なお、プライバシー保護のため、電話での照会及び代理の方には情報提供できません。

ウ 簡易開示により提供する情報

試験	情報提供期間	対象者	提供する情報
第1次試験	8月11日(水) ～ 9月13日(月)  (土曜日・日曜日・祝日を除く 平日の9:00～17:15)	一般選考受験者 (身体障害者選考による受験者を含む。) 英語有資格者特別選考受験者	①筆記試験(「教職・教養」及び「教科専門Ⅰ」)の得点 ②筆記試験の評定 ③口述試験の評定 〔②、③については、第1次試験受験者の中で、上位よりAからEの5段階〕 ④(不合格者のみ)試験結果の総合成績ランク 〔不合格者の中で、上位よりAからEの5段階〕
		社会人特別選考受験者	上記③④に加えて ⑤論文試験の評定 〔社会人特別選考受験者の中で、上位よりAからCの3段階〕
		外国語(ポルトガル語、スペイン語、中国語)堪能者選考受験者	上記①～④に加えて ⑥当該外国語による「面接」の評定 〔外国語堪能者選考受験者の中で、上位よりAからCの3段階〕
第2次試験	10月4日(月) ～ 11月4日(木)  (土曜日・日曜日・祝日を除く 平日の9:00～17:15)	第2次試験受験者	①教科専門Ⅱの得点 ②実技試験の得点 ③教科専門Ⅱ(実技を含む)の評定 ④小論文の評定 ⑤口述試験(集団討議+個人面接)の評定 ⑥クレペリン検査 〔③～⑥については、第2次試験受験者の中で上位よりAからEの5段階〕 ⑦(不合格者のみ)試験結果の総合成績ランク 〔不合格者の中で、上位よりAからEの5段階〕